

## 令和3年度の戦略プロジェクトについて

### 1. まちづくり方針や戦略プロジェクトの検討（継続）

「山形市中心市街地活性化戦略本部」より示されたまちづくり方針や戦略プロジェクトの課題・問題について、事業内容や実施手法等の検討を行う。

### 2. やまがた街なか出店サポートセンター事業

#### (1) 空き店舗・空き事務所の情報収集（継続）

不動産事業者や所有者と連携し、不動産情報の収集と新規開拓

#### (2) 新規出店予定者への情報提供及び相談（継続）

空き店舗や出店検討場所周辺の駐車場、中心市街地の商業トレンドなど、出店の際に参考となる情報の提供

#### (3) 各種支援制度の紹介・事業計画作成支援（継続）

出店の際に活用可能な融資や補助制度などの支援制度の紹介  
事業計画書の作成支援

#### (4) 中心市街地エリア内の業種毎の収益状況調査・分析（継続）

商業トレンドの把握と業種業態毎の収益状況調査・分析の実施

#### (5) 出店しやすい家賃設定に向けた交渉（継続）

家賃の金額に、借り手側と貸し手側で乖離がみられる場合、不動産事業者等を通じ、出店しやすい家賃設定に向けた交渉の実施

#### (6) 出店者に対するフォローアップ（継続）

出店サポートセンターを介し中心市街地に出店した店舗を中心に、商工会議所経営指導員と連携して、収益状況等の確認等の実施

#### (7) 中心市街地エリア内の既存店舗に対する後継者・事業承継状況調査（継続）

商業形成の維持を図るため、既存店舗に対し、将来にわたり継続して営業する店舗となるかの確認を目的とした後継者及び事業承継予定の状況調査の実施

#### (8) テナントリーシングや空き店舗対策に向けた意見交換会（新規）

テナントリーシングの実施や創業支援の強化に向け、組織間や担当者同士の連携強化を図るため、金融機関や不動産事業者、創業支援機関、商業施設などの関係者と意見交換会の実施

#### (9) テナントリーシング実施に向けた人材育成（新規）

外部専門家よりテナントリーシングのノウハウを学び、人材のスキルアップを実施

#### ◆ 事業の流れについて

内 容
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 企業へのプレゼン用資料の作成</li><li>・ 出店意向調査の対象企業のリストアップ</li><li>・ 信用調査会社を活用し、郵送にてアンケート調査を実施</li><li>・ 外部専門家を高本氏に依頼</li><li>・ 外部専門家の企業訪問に同行し、リーシングの手法を学ぶ</li><li>・ 企業の出店条件等を整理し、データベース化する</li><li>・ 出店（試験的なものも含む）希望の企業に対し、空き店舗や補助制度の紹介を行う</li></ul>

#### ◆ 高本 泰輔 氏 プロフィール

金沢商業活性化センター常務執行役員、内閣府地域活性化伝道師、中小機構中心市街地商業活性化アドバイザーなど幅広いまちづくり活動を行っている。

経済産業省のまちづくり人材育成委員などにも就いていた経験から、地域人材育成にも尽力している。

今回は高本氏のこれまでの人材育成並びに店舗誘致などの実績も踏まえ、外部専門家として依頼する。

### 3. 街なか情報発信事業

情報発信サイト「はい！やまがたでした！」の利用者の拡大を図り、掲載店舗の収益向上の一助となるツールとしていくため、以下のような運用を行う。

#### (1) 情報の拡充と定期的な情報更新（継続）

Google 検索時の表示順位を決定する要素は、訪問ユーザーのリピート数が基準となることから、訪問ユーザー数の増加を図るため、情報の拡充と定期的な情報更新を実施する。

具体例）新規店舗の紹介、食レポの記事の掲載、季節の料理のレビュー更新 など

#### (2) 関連団体との連携（継続）

関連団体のホームページに相互リンクを設定し、本サイトへの誘導を行う。

#### (3) サイトやインスタグラムを活用したイベントの適宜開催（継続）

掲載店舗の情報発信を支援するイベントを開催し、各店舗への集客を図る。

### 4. 各種調査事業（継続）

より効果的な事業の実施に向け、中心市街地の現況把握のための各種調査を実施する。

#### 【主な調査】

- ・ 業種構成調査
- ・ 市民アンケート調査
- ・ 歩行者通行量調査

## 5. すずらん商店街における老朽建物の整備改善事業（継続）

### (1) 事業の進め方の検討

地権者の了承を得て、「モデル街区」に対し整備計画の提案を進めてきたが、地権者の意向の変化や新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の進め方を見直し、地権者に対する意向アンケート調査結果や不動産開発業者からの提案を基に、地権者と事業の進め方の検討を行う。

### (2) すずらん商店街区オープン化の実証実験（新規）

ウォークアブル推進都市の指定を受けている山形市において、すずらん商店街区オープン化の実証実験を予定している。

商店街テラス化プロジェクトを支援した実績を活かし、すずらん商店街区の飲食店で構成するプロジェクトチームのメンバーに当協議会も参画し、実証実験の円滑化を支援することで、すずらん商店街区の価値の向上を図る。

#### 【実施予定概要】

- ①期 間 ・テラス化 : 令和3年5月～11月  
・歩行者天国: 令和3年7月下旬～8月下旬の4週末（金・土）
- ②内 容 ・テラス化  
歩道部民地側より80cmの幅員をテラス利用  
・歩行者天国  
車道部を車両通行止めにし、車道空間も利用

## 6. かすみ公園周辺エリアにおける新たなまちづくり事業（継続）

改めて地権者の意向を確認し、事業化が進展するよう関係団体との調整を図る。

## 7. 新たな決済サービスの展開と地域電子マネー・地域ポイントの推進（継続）

山形市が「インバウンド×キャッシュレス地域経済活性化最先端モデル事業」に選定されていることから、ラカラジャパンと連携し、モデル事業を行い、利用者属性、決済方法比率、業種比率等の消費者動向調査を実施する。

また、駐車場でのICカード決済の導入等を検討する。

#### ◆事業の流れについて

内 容
・ 端末導入候補店舗のリストアップ
・ 決済端末導入に向けた決済事業者への業務委託 (決済端末の無償提供、導入店舗に対する決済手数料の軽減、店舗への端末導入の営業、決済端末設置に伴う周辺環境整備等の準備支援 等)
・ 候補店舗へのアプローチ
・ 説明会・申込会の開催
・ 端末発注、導入準備
・ 消費者動向調査の実施

## 8. 新規事業（新規）

### (1) 中心市街地エリアにおける昼間交流人口増加の促進

中心市街地では多くの飲食店が出店しているが、昼間に営業をしている店舗が少ない状況にある。

昼間から営業している飲食店が増加するような事業を実施することにより、昼間交流人口の増加や、中心市街地全体における飲食店の連携、周知を図っていくことが必要である。

#### 【検討事業】

- ① 昼間に営業している飲食店を紹介するマップ等の作成
- ② 街なかバル等の集客イベントの実施

## 9. 山形エリアマネジメント協議会と連携する法人の検討（継続）

任意団体である山形エリアマネジメント協議会の役割はまちづくりを包括する事であるが、国の支援を受けながら事業展開を行うためには、「都市再生推進法人」の指定を受ける事が重要となる。

全体の事業の進捗状況や推進するための手法を念頭に置きながら、法人のあり方についての検討を進める。